

教材の活用場面

活用した教材	ネットでも知り合った人、会っても大丈夫？ (考えよう！デジタルリテラシー 事例 5)		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digital_literacy/jirei5.html		
STEP	STEP 5	領域	C 情報モラル・セキュリティ
学校名	都立日野高等学校	校種	全日制・普通科
学年	第2学年	教科等	保健体育
単元名	第3章 2. 性意識の変化と性行動の選択		
活用の概要	保健体育の内容に付随した単元としてデジタル教材を扱う。プロジェクトを用いた全体説明とグループワークを通して、SNS 社会における問題点を挙げ、セクシュアルハラスメント・デートDV など犯罪につながる可能性があるという意識をもたせる。		

活用の様子

【ポイント1】全体で「デジタルリテラシーとは何か」を確認



「考えよう！デジタルリテラシー」の教材事例5「ネットでも知り合った人、会っても大丈夫？」をプロジェクタで提示し、デジタルリテラシーについて学級で説明する。身近な事例を取り上げ、事件に巻き込まれないようにするにはどのようにすればよいか考える。

【ポイント2】一人1台端末で調べ学習し、グループで共有



「児童・生徒のインターネットの利用状況調査」やその他のweb上の資料などを用いてネット社会のメリットとデメリットを調べる。グループワークを行い、他人の意見も取り入れながら調べ学習を進める。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	<p>1 本時の学習内容を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の Web ページを示し、SNS 利用やデジタルリテラシーについての要点がまとめられていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「考えようデジタルリテラシー」Web ページを閲覧し、公開されている教材を確認する。 ○生徒が自身の生活と関連付けて考える時間を設定する。
展開	<p>2 「ネットで知り合った人、会っても大丈夫？」の確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ネットで知り合った人、会っても大丈夫？」のページを示し説明する。 ・「もし実際に会うことになったらどうするか？」と教科書内容について、グループワークを行う上での注意点を説明する。 <p>3 グループ内で話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 クラス 10 班程度に分かれ、デジタル教材・授業内容について意見交換を行う。自身の経験や他者から聞いた話などを共有し、本テーマについて議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「SNS で知らない人に『いいね』を押したことがある」、「SNS で知らない人に DM を送ったことがある」など、段階的な質問を投げかける。 ○プライバシーに配慮し、「答えたくなければ無理に答える必要はない」ことを伝える。 ■Whiteboard や Class Notebook などの共有アプリを活用しながら、話し合った内容をまとめる。
まとめ	<p>5 グループ内でのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度『児童・生徒のインターネット利用状況調査』調査報告書」やネットニュースの記事などを検索させる。 ・ネットでの出会いの危険性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人1台端末を用いて、資料の検索やデータ活用を行う。また、Forms を利用した振り返りを行う。 ☆情報活用能力、本時の内容が身に付いたかどうか、Forms の振り返りをもとに評価を行う。 <p style="text-align: center;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>